

下地調整材・補修材 (0.5~2 mm)

# Aモル#10

【施工要領書】

平成20年10月10日



二瀬窯業株式会社

**用 途**

クロス、ペンキ下地

適応下地 コンクリート面、ブロック面、ALC面等

塗厚0.5～2mmの下地調整、仕上材

**施工手順****1. 下地の確認**

- (1) 下地面の突起物、レイトンス、硬化不良などによる脆弱部分、型枠離型剤などの油脂分は、サンダー、ケレン棒又は、ワイヤーブラシ等で除去し、水洗いを行って下さい。
- (2) 下地面の目違い・ジャンカ・豆板・大きなひび割れ・大きな気泡穴・破損部分は予めポリマーセメントモルタルで下地調整・補修を行って下さい。  
※下地調整・補修を行った際には、24時間以上養生を行って下さい。
- (3) 露出した鉄筋・番線・釘等は錆を除去した後、エポキシパテ等で防錆処理して下さい。

**2. 吸水調整**

- (1) 下地の清掃が終わった後、ユニレックス3の3倍希釈液にて吸水調整を行って下さい。下地表面が乾燥した後、Aモル#10の施工に移って下さい。目安としては4時間以上です。  
※下地の吸水が大きい場合はユニレックス3の3倍希釈液を塗布した後、乾燥後もう一度ユニレックス3の3倍希釈液を塗布して下さい。

**【希釈配合】**

3倍希釈液…ユニレックス3	1L	+	清水	2L
ユニレックス3	270m <sup>2</sup> /缶		(18L/缶)	

**3. 材料の混練**

- (1) Aモル#10 1袋 (25kg) にユニレックス3を1Lと清水約7.8Lを加えてハンドミキサー等で混ざりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。

調合…Aモル#10	25kg	+	ユニレックス3	1L	+	清水	約7.8L
Aモル#10	約21m <sup>2</sup>		(塗厚1mm時)				

**4. 塗り付け**

- (1) 施工面にピンホール等があれば、まず拾い塗りをして下さい。
- (2) ついでに、金ゴテにて全面に塗り付けて、コテ圧を十分にかけて平滑に仕上げして下さい。
- (3) 刷毛引き仕上げの場合は、ユニレックス3の10倍希釈液にて、仕上げを行なって下さい。

## 5. 養生

- (1) 塗り付け後に、降雨雪の恐れのある場合、または、通風・日照の激しいときはシート掛け等の保護養生を行って下さい。
- (2) 夏場施工の際には、Aモル#10の塗り付け翌日に散水養生を行って下さい。
- (3) 塗り付け後の養生期間は7日以上とし、その後、次工程に移って下さい。

### **注意事項**

1. 寒冷期、気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、原則として施工は行わないで下さい。
2. 直射日光・風雨時には、シート掛け等十分な養生をして下さい。
3. Aモル#10の保管は、湿気を避ける場所にして下さい。
4. Aモル#10には、当社が指定したもの以外のものを混入しないで下さい。
5. 混練した材料は40分以内に使用して下さい。
6. Aモル#10硬化前の雨水等による濡れは、白華の原因となりますので注意して下さい。
7. Aモル#10の床面への施工は避けてください。